

理事長挨拶



宮原 秀夫

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、我が国の経済の成長と発展、豊かで安心・安全な社会の実現の原動力である情報通信技術分野の研究開発と事業振興業務を推進しております。

平成18年度にスタートした第2期中期目標期間においては、新世代ネットワーク技術、ユニバーサルコミュニケーション技術、安心・安全のための情報通信技術の3つを重点領域とし、基礎的な研究開発から先導的な研究開発までを一貫して実施して参りました。

平成22年度は、この第2期中期目標期間の最終年度にあたり、5年間の総仕上げという観点から研究開発を推進してきた結果、光パケット・光パス統合ネットワーク技術、動画カラー電子ホログラフィ技術、セキュリティインシデントを解析する相関分析エンジン技術など、世界最高性能の研究開発成果が得られました。また、コグニティブ無線技術やスマートユーティリティネットワーク技術などについて、国際標準として策定・採択されるとともに、多言語音声翻訳システムや情報信頼性分析システムの公開など、社会への還元・展開に係る成果も得られました。

平成23年4月からは、新しい第3期中期目標期間が始まり、少子高齢化、医療や教育、地球温暖化等、日常生活から地球規模に至るまでの様々な課題の解決に貢献すべく、ネットワーク基盤技術、ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、未来ICT基盤技術、電磁波センシング基盤技術の研究開発を推進して参ります。災害時に対応できる情報通信技術の研究開発にも、より一層積極的に取り組んで参ります。

研究開発を進めるにあたっては、産学官の連携や国際連携を強化するとともに、我が国の情報通信産業の発展と人材の育成にも貢献して参ります。また、研究開発成果の社会への還元を積極的に進め、我が国の経済の成長と発展、豊かで安心・安全な社会の実現、国際競争力の維持・強化に貢献して参ります。

本年報が、NICTをご理解いただく一助として、ご活用いただけますと幸いです。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。